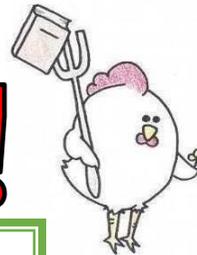


図書館だより

2023.1-2月号

「読みたい本がきっと見つかる！」農芸図書館 発行 2023.1.11

不明本を探しています！



蔵書点検の結果、現在シリーズ本を含む15冊が行方不明になっています。

心当たりのある人、お近くで見かけた人は図書館までお知らせください。



- ★理系アタマがぐんぐん育つ科学の実験大図鑑
- ★NHKカガクノミカタ 自分だけの「フシギ」、見つけよう①②③
- ★キノの旅 ②
- ★人狼ゲームMAD LAND/LOVERS
- ★ロボット・イン・ザ・ガーデン
- ★貴族と奴隷
- ★orange ACTION COMIC ①②③④⑤⑥

3年生のみなさんへおしらせ

- * 今、借りている本は1月末までに返却してください。
- * 2月も本を借りたい人、延長したい人は必ず手続きをしてください。(借りたままにしないこと。)

最終返却日は**2月28日**です。

卒業までにぜひ読んで

「自分のいいところ」がもっと伝わる58の方法

限られた出逢いや、表情がつかみにくい今だからこそ、「自分のことをわかってもらうこと」が大事になっています。これから始まる新しい環境に馴染めるように、なにげない会話や人の輪の中に入っていくとき、メールやLINE、SNSでも相手に好印象を残し「わかり合える」楽しいコミュニケーションに効果あり！



地方で働き、地方で生きるという選択

地方だからこそ個人の力を発揮できる仕事があり、仕事が充実するからこそ家族との豊かな時間を過ごせると考え、これが人生の豊かさだと語ります。これからの地方を盛り上げていく若者に、豊かな暮らしを地方で営むためのコツ、転職や起業で選ぶべき職種、住む地域の決め方ライフプランについて実体験をもとに具体的に紹介しています。



NEW TITLE

農芸高校図書館 2023.1.11 発行 寒さも厳しいこの季節、生活リズムを整えて健康管理をしましょう。

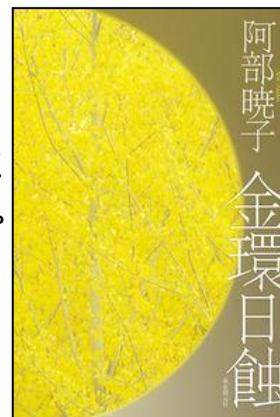
家事は大変って気づきましたか？

時代が変わっても、家事はラクになっていない！なぜ家事は女性の仕事だったのか？
家事のモヤモヤをときほくし
共働き時代の新しいハートナーシッフのかたちを考える。



金環日蝕

知人の老女がひったくりに遭う瞬間を目にした大学生の春風は、その場に居合わせた高校生の錬とともに咄嗟に犯人を追ったが、間一髪で取り逃がす。犯人の落とし物に心当たりがあった春風は、ひとりで犯人探しをしようとするが…。



異種移植

ヒト-ヒト間の臓器移植が抱えている臓器不足問題の解決策として長く期待されてきた異種移植。近年、遺伝子改変され、ゲノム編集などにより病原体が排除されたドナー豚が作られている。2022年1月には、このドナー豚の心臓を用いた初の移植手術が行われた。いまやこの技術は、実験的な医学研究の段階から、臨床試験の段階へと進もうとしている。



私だけ年を取っているみたいだ。

統合失調症の母、家庭に無関心な父、特別扱いされる弟、認知症の祖父。ゆいは幼いころから家族の世話を担ってきた。「子どもらしさ」を押し殺して生きる子ども時代と、成人してからの「ヤングケアラー」としての自覚。失われていた感情を取り戻すまでの再生の物語です。



心理的安全性のつくりかた

いま組織・チームにおいて大注目の心理的安全性とは「何か」
職場・チームで高めるにはどうしたら良いのか。
「組織に関わる人はぜひ読んでほしい」
「一歩踏み出す勇気が湧いてきた」
「自分も改めないといけない」



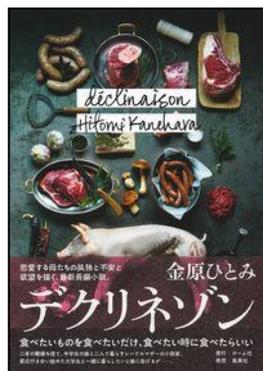
公園が主役のまちづくり

日常生活の新しいスタイルが模索される現在、公共空間＝「パブリックスペース」の重要性が再認識されている。官民連携事業による、都市公園を中心とした活気ある住み心地の良いまちづくりの方法を大阪・吹田市の緑豊かな千里南公園などの実例をもとに、わかりやすく解説。



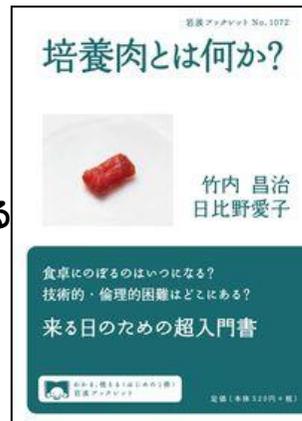
テクリネゾン

食べたいものを食べただけ、食べたい時に食べたい。二度の離婚を経て、中学生の娘と二人で暮らすシングルマザーの小説家。最近付き合い始めた大学生と一緒に暮らしたいと娘に告げるがー。恋愛する母たちの孤独と不安と欲望を描く、長編小説。



培養肉とは何か？

2022年3月、培養ステーキ肉が日本で試食された！食料不足などを背景に登場し期待の一方で不安もある培養肉は種類がいろいろ。作製技術も異なる。ウシのステーキ様肉作製に成功した著者が、先端技術と将来の可能性、社会の受け入れを検証。課題を、最低限の基礎知識としてまとめた超入門書。



ビジュアル版 終戦直後の日本

敗戦はすべての日本人を窮状に陥れた。生きのびるために必死人々は路上や洞窟で暮らしヤミ市で食べ物をあさる。過去の秩序や価値観がひっくりかえった時期でもあった。現在と比べるとあらゆるものが劣悪だったにも関わらず、ある意味では活気に満ちていた日本の様子を、さまざまな面から、豊富な写真で記録。

